

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 94 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1. 日 時：2023年5月10日（水）13：30 ～ 14：45

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者：（敬称略）

（出席委員）高橋部会長，藤原幹事，浅野，飯田，石原，井出，大間，片岡，菊池，久野，
久保，小松原，斉藤，佐々木，白井，高橋(浩)，立川，林，藤田，柳原，山本(正)
(21名)

（代理出席）重留 義明（NDF／加藤委員代理）（1名）

（常時参加者）田村（1名）

（欠席委員）高橋(秀)，中島，山本(武)（3名）

（説明者）【LLW 埋設後管理分科会】関口幹事，千々松委員

【LLW 処分安全評価分科会】竹内幹事，駒月常時参加者，斉藤常時参加者(5名)

（事務局）大沼，正岡，平野（3名）

4. 配付資料：（議事録末尾に一覧を掲載）

5. 議事内容

事務局から開始時，委員 25 名中，20 名が出席しており，成立に必要な定足数（17 名以上）を満足している旨が報告された。その後，2 名が途中参加し，22 名の出席となった。

(1) 前回議事録（案）の確認（FTC94-1）

前回議事録（案）について，事前に配付されていた資料 FTC94-1 にて，承認された。

(2) 人事（FTC94-2）

事務局から FTC94-2 に基づき，専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり，委員の退任等が確認され，審議の結果，委員の選任等が決議された。

【専門部会】

◆ 決議事項

(1) 委員再任

林 宏二	電気事業連合会	2023.08～2025.07
飯田 芳久	日本原子力研究開発機構	2023.09～2025.08
片岡 秀哉	関西電力	2023.09～2025.08

◇ 確認事項

(2) 常時参加者登録解除

桶谷 光洋	国土交通省	2023.04.04
-------	-------	------------

【分科会】

○ LLW 埋設後管理分科会

◇ 確認事項

(1) 常時参加者登録解除

東原 知広	原子力規制庁	2019.07.04
村松 貴史	原子力安全推進協会	2021.03.31

(2)幹事退任

梅原 隆司 原子力安全推進協会

2023.03.31

(3)幹事指名

関口 高志 戸田建設

○LLW 処分安全評価分科会

◇確認事項

(1)常時参加者登録承認

駒月 誠治 中部電力

斉藤 太一 日揮

(3)【報告・審議】(FTC94-3-1～2)

“低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法—中深度処分編：20XX”
標準改定案に関する公衆審査の結果及び受け付けたご意見への対応について

(担当：事務局，LLW 埋設後管理分科会 関口委員，千々松委員)

事務局から資料に基づき，題記に関する公衆審査の結果，意見の提出がなかったことが報告された。引き続き，LLW埋設後管理分科会から公衆審査版から特に修正等が無いことの説明があり，審議の結果，この内容で次回の標準委員会へ報告することが決議された。

特に質疑，コメント等は無かった。

(4)【報告・審議】(FTC94-4-1～2)

“浅地中処分の安全評価手法：2016”の改定について

(担当：LLW 処分安全評価分科会 竹内幹事，駒月常時参加者，斉藤常時参加者)

LLW処分安全評価分科会 駒月常時参加者から資料に基づき，題記に関する改定の趣意について説明があった。審議の結果，この内容にて改定作業を進めることとし，次回の標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：現行版は指針であったが，改定版も指針の予定か？

A：指針の予定である。

C：今回は浅地中処分としてトレンチ処分とピット処分を対象とし，トレンチに関して附属書を2つ追加しているが，その他はトレンチとピットを分ける必要はないという判断か？

A：分けるべきところは分けるが，共通で良いところは分けないこととしている。

(5)【報告】(FTC94-5)

分科会活動状況について

(担当：各分科会代表者等の関係者)

分科会の代表者から資料に基づき，分科会の活動状況についての報告があった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：輸送容器分科会所掌の各標準についての進捗は？

A：作業会で順調に検討を進めている。

Q：LLW埋設施設検査方法分科会の標準の公衆審査に移行する前の転載許諾取得状況は？

A：転載許諾とは別に，公衆審査移行前の標準内容の見直しに時間がかかっている。

(6)【報告】(FTC94-6)

学会標準の今後の技術評価対応について

(担当：原子燃料サイクル専門部会 林委員)

林委員から資料に基づき，題記に関し説明があった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C：技術評価対応としては、NRAのニーズに合わせたサブセットを準備すればスムーズにいくと思われ、提案の趣旨は理解する。しかし、あくまでも標準としての全体像があり、これに対し下位で読み替え・オーバーライドしたものは矛盾する可能性がある。この標準はISOに採用されて国際標準になっているものであり、狭いところを追い求めすぎると、学会として世界に社会貢献して価値が高い標準ということと逆方向になる。このあたりのバランスが必要。

C：もともと考え方の部分、大きな枠をきちっと標準として作ったものであるのに対し、NRAは具体例の計算の細かい条件等を求めている、かなり苦慮した。やはりそのバランスが課題。

C：廃棄体の製作については具体性が求められるので、附属書の形でNRAの要求にあった手順書を作るという方向で良いと思う。

Q：今後の進め方はどうなるか。

A：NRAと調整し、この方法でよいとなれば、標準委員会へ相談のうえ、順次分科会で審議するよう準備していく。

C：規制に使われることは学会標準として意味のあることでもあり、それも含めて対応していく。

6. その他

(1) 標準委員会規則類の制改定について

事務局から、「標準委員会等運営ガイドライン」の制定の予定が紹介された。

(2) 2023年度倫理教育について

事務局から、本年度の倫理教育の実施予定について紹介があった。

(3) 今後の予定

次回は、2023年8月3日（木）13：30からの開催に決定した。

【配付資料】

FTC94-0 第94回原子燃料サイクル専門部会議事次第

FTC94-1 第93回原子燃料サイクル専門部会議事録（案）

FTC94-2 人事について

FTC94-3-1 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法—中深度処分編：20XX”
標準改定案に関する公衆審査の結果について

FTC94-3-2 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法—中深度処分編：20XX”
標準改定案

FTC94-4-1 趣意書「浅地中処分の安全評価手法：2016(AESJ-SC-F026：2016)」の改定について

FTC94-4-2 原子燃料サイクル専門部会 標準策定5か年計画（2023年度版）（FCT93-7-1より）

FTC94-5 分科会活動状況報告

FTC94-6 学会標準の今後の技術評価対応について

FTC94-参考1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿

FTC94-参考2 原子燃料サイクル専門部会出席実績

FTC94-参考3-1 規則類、ガイドラインの制定について（案）

FTC94-参考3-2 SG-101 標準委員会等運営ガイドライン（案）

以上